

ダックビル山岡の 最強リスク管理講座

リスク管理とは

FXにおけるリスクとは

- ①値動きのリスク
- ②流動性のリスク
- ③システムリスク
- ④信用リスク

信用リスク

お金を預ける以上大事

大前提は
国内登録業者を選ぶ

あとは
どれだけ取引するひとの立場に立っているか

システムリスク

- 1) サーバーダウンなどで取引が出来ないリスク
- 2) 注文などをじぶんで間違えるリスク

流動性リスク

2015年1月15日

スイス中銀がフランの対ユーロ上限を廃止

一気のフラン高にレートが飛ぶ

過去には

1992年のポンドショック

1998年のLTCMショックなど

値動きのリスク

FXで一番大事なリスク

ただし避けるべきほかのリスクと違って
このリスクをとることでリターンが生まれる

どのようにコントロールしていくか

リスクをどう管理するのか

リスクを排除するという考え方があるが
それではリターンも生まれない

リスクは**管理**するもの

リスクマネージメントが投資で最も重要

リスクをどう管理するのか

①最大損失を意識する

取引単位と収益の関係を整理する

②市場は不確定であるということを再認識する

100%の勝ちを狙わない

リスクをどう管理するのか

狙うべき勝率は 7割

3割の負けを意識する

具体的な戦略作りを見ていきましょう

＜リスク開示＞

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものではありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

＜注意喚起＞

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生可能性があります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：ヒロセ通商株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：近畿財務局長（金商）第41号

加入協会：金融先物取引業協会会員番号1562